

## 大阪府高槻市南部における国外外来魚の記録と現状

高槻市立自然博物館(あくあぴあ芥川)

花崎 勝司

高槻市は大阪府北東部に位置し、北摂山地に属する明神ヶ岳(標高 524m)のふもとを水源のひとつとする芥川が市内のほぼ中央部を北から南に貫流する。芥川は女瀬川をはじめとする芥川水系を形成し、淀川大堰から約 15 km 上流の地点で淀川に合流する。芥川の東方には檜尾川が並行して流れ、本川もまた淀川に合流する。市南部は淀川右岸に面し、その広範囲は沖積低地で、耕作地や市街・住宅地があり、農業用水路や準用河川が網目状に走っている。

演者は、2009 年から現在に至るまで芥川水系を中心に同市内の生息魚類の現状や生態的特性などについて現地ならびに標本調査を行い随時報告してきた。また同時に、当館所蔵の 1970 年代以降の未登録魚類標本の再同定・登録・保管、データベース構築も進めている。今回の発表では、いまだ市南部における現地調査は十分ではないものの、現状を改めて確認することを目的とし、1970 年代から 2017 年までの期間に記録された市南部における国外外来魚についてとりまとめたのでその結果について報告する。

市南部の水域において、国外外来種は 10 種記録された。これらの記録地点は定期的に調査を実施している芥川の定地点、数回の調査にとどまっている地点、さらに単発地点(一般市民の持込など)全てを、また単一種のみ、もしくは複数種が記録された地点など全てを含め 27 地点であった。

タイリクバラタナゴ、カムルチー、タイワンドジョウ、ニジマス、ナイルティラピア、およびタウナギの 6 種の記録地点数は 6 以下にとどまった。ニジマスは芥川の 3 地点で体長約 150~350 mm の未成魚・成魚段階に相当する 3 個体が記録された。他 5 種も数個体程度の記録であるが、その成長段階は稚魚から未成魚・成魚に相当するものであった。これらもその多くが芥川からの記録であったが、カムルチー、ナイルティラピア、およびタウナギでは水路からも記録された。

残る 4 種は特定外来生物であった。オオクチバスは 11 地点で記録されたが、その記録地点は全て芥川であった。芥川における本種の成長段階と食性については既に報告されており、若魚から未成魚が大半であること、魚類、水生昆虫、エビ類などを捕食していることが明らかになっている。なお、2016 年にはこれまで記録されていない地点でも採集された。ブルーギルは 13 地点で記録されており、その記録地点は芥川を中心とするものの、当該水域のため池や支川域にもおよんだ。カダヤシは芥川のみならず、水路やため池など 18 地点であり、今回の調査では、最も多くの地点で記録のあることが判明した。コクチバスが 2015 年に記録された。本種の記録地点は芥川の下流域 2 地点のみにとどまっているが、本種が魚道を遡上する事実は既に判明しており、今後、これらを遡上し、より上流側に拡散する可能性が高い。本種はオオクチバスと同様に侵入水域において、その強い捕食圧から在来生物に強い負の影響を及ぼすことが各地で報告されている。本種の動向については今後とりわけ注視していく必要がある。

第 13 回 外来魚情報交換会

2018 年 1 月 27 日(土) 草津市立まちづくりセンター